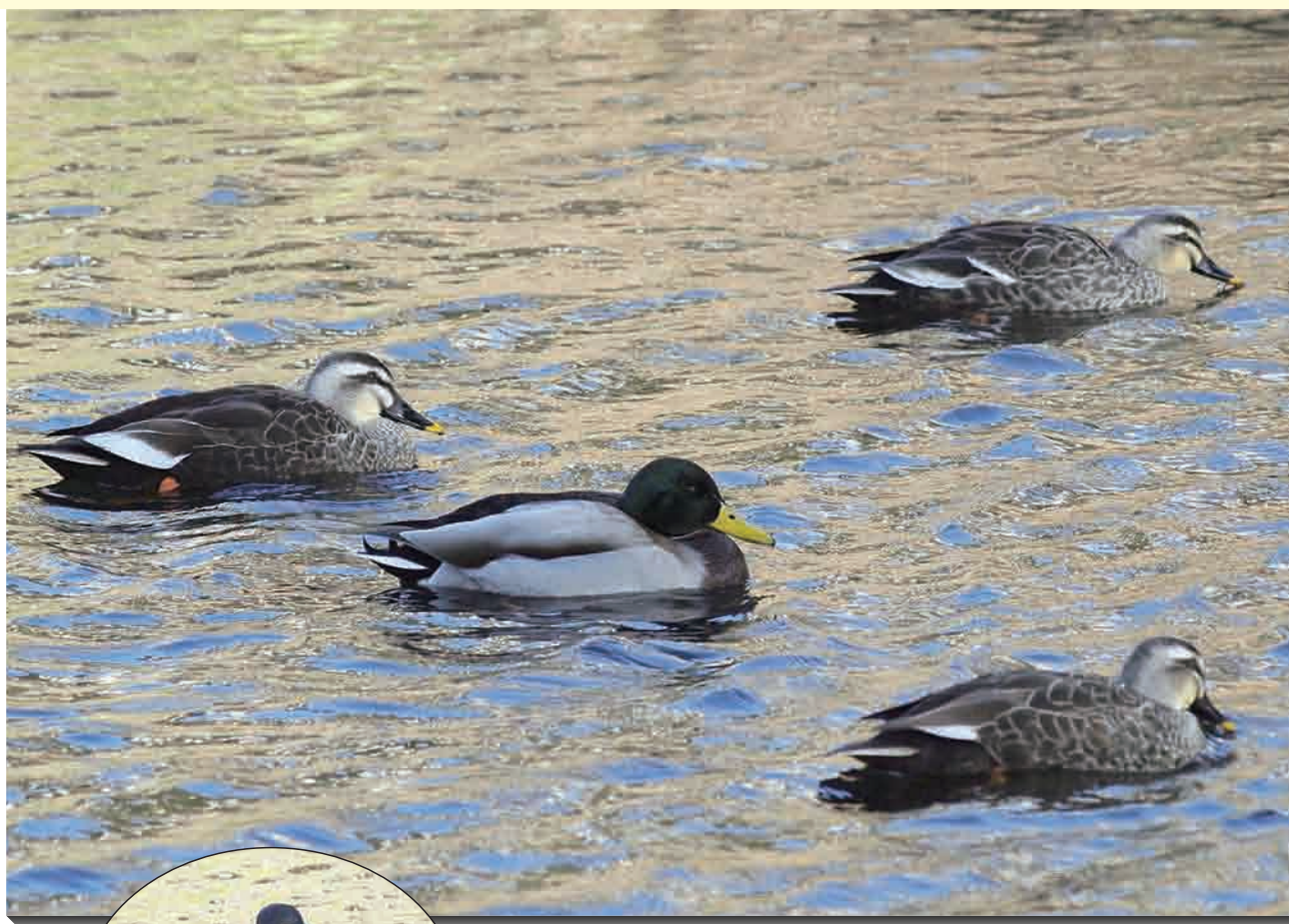


シルバー

2012・3
129号

せたがや



早春の多摩川 マガモの雄(上)とカルガモ(下)

撮影 落合 泰造

過信せず 健康チェック 心がけ
ハンドルの ニギリはいつも プレーキに
確認は 急がず焦らず ためらわず



平成24年3月15日発行 編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)
鳥山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>

平成23年度

各委員会・部会は、こんな活動をしてきました

会長 竹内 弘

昨年3月11日、年度末最後の理事会開催時、「東日本大震災」が発生し、間もなく新年度がスタートしました。23年度は、4月1日から「公益社団法人」の第1歩を踏み出しましたが、理事数が前年度より半減し、総数12名になりました。

少なくなった新理事を中心に組織運営や事業執行を担っていただくために、各委員・部会等々の組織の改編を行い、運営体制を整えました。

一方、行政の援助などでは、国などによる補助金の2回にわたる減額がありましたが、役職員・会員の皆様のご努力により前年度並みの体制を維持する

ことができました。

個々の活動状況では、「総務・企画」関係に、公益社団法人としての規程規則等の改訂、人材育成計画の策定、ホームページのリニューアル等、多岐にわたる活動を展開していただくと同時に、震災義援金の募集も行いました。

「事業推進」関係では、「新就業改善推進計画」の改訂、「理事による発注者訪問」の継続をはじめ、仕事別グループの組織化や、適正就業・安全就業、ボランティア活動等の推進に努力をいただきました。

また、新事業として「あったかサポート事業」を新規に開始し、一定の成果を収めることができました。会員ならびに区民の皆様に、感謝を申し上げます。

●総務・企画委員会の活動

衣笠 俊一

公益社団法人の新体制のもとで、以下のような活動を進めてきました。

1 組織の運営に関して

公益社団法人として諸規程の改訂整備（総会・理事会等の運営規則等）、理事・監事選考システムの検討、就業改善推進計画の策定、人材育成計画の策定、地域活動の「地域活動連絡会議」の名称決定。

2 会員にかかわる事項

入会時説明・研修会、役員・組長・班長、入会5年次会員対象の研修会等実施。「地域活動連絡会議」の実施支援、会員憲章の策定の推進等。

3 広報・広聴の充実に関して

「シルバーせたがや」編集委員を増員し、紙面の充実とホームページのリニューアルを推進中。

●事業推進委員会の活動報告

前橋 允

23年度末には、会員数はほぼ3,000人に達し、若手は昭和26年生まれ、会員番号も10,000番代になりました。委員会では、年頭に掲げた事業目標に沿って以下の活動を行いました。

- 1 理事による発注者訪問の実施:各発注者からは、会員の就業にご満足のご好評をいただきました。
- 2 仕事別グループの組織化・就業の公平化・安全対策・就業推進計画の見直し、災害・事故対策に取り組む:安全で安心して、一人でも多くの会員が就業できるように努めています。
- 3 ボランティア活動:東京マラソン、世田谷区たまがわ花火大会での活動をさらに拡大し、多くの会員の参加のもとに、都民・区民の皆さんにお役に立つシルバー人材センターを目指しています。

「東京マラソン2012」に環境ボランティアとして活躍（2月26日）

内外のトップ選手、市民ランナーなど約36,000人が参加した大イベント「東京マラソン2012」が開催され、多くのボランティアグループが舞台裏で活躍しました。都内11の区や市のシルバー人材センターからも178人が参加。当センターも、会長、事務局長を先頭に32名が環境ボランティアとして、不慣れな来場者への会場案内、リサイクル容器回収の指導やゴミの分別案内に活躍しました。

参加された清水会員の感想は、「社会奉仕活動の推進を目指しているのので、有意義で楽しかった」でした。



ゴール近くのランナーの集団



参加会員の皆さん



広報・広聴部会

木村 万紀子

- ・ 7月 当センターのホームページをリニューアル。センターの仕組み、就業内容、配分金や税金に関するQ&A等もすぐわかるように一新。
- ・ 8月6・7日「ふるさと区民まつり」に参加。竹製団扇や当センターのリーフレットを配布、PR活動。
- ・ 10月20、21日「いきいきせたがや文化祭」に参加。実行委員会メンバーとして、司会・裏方・展示会場の案内等で活動。当センターの存在をPR。
- ・ 組長研修会で「地域活動連絡会議（旧懇親会）」に関するアンケートを実施。結果を広報紙に発表。
- ・ 当センターの活動、現課題との取り組み等をわかりやすく伝えられるよう広報紙の改善を推進中。

家事援助サービス部会

伊藤 正子

- ・ 新事業「あったかサポート」を世田谷・北沢地域限定で開始。協力会員募集・説明会を実施。
- ・ さらなる普及活動として区への事業説明、地域内公共施設へのチラシ配布、組長連絡会議での協力依頼、部会開催の研修会で周知・伝達を行った。
- ・ 家事援助サービス会員のための情報紙「エブロン通信」を年3回（6月、9月、3月）発行。
- ・ 就業会員の交流会として催事（ビーズ細工）実施。
- ・ 未就業会員対象の催事と面談会を実施。
- ・ 宮坂区民センターまつりに参加、PR活動。
- ・ 会員研修会・各地域別の情報交換会を開催。テーマ「大地震！そのときあなたは…」

会員活動活性化担当

清水 富久夫

- ・ 7月 新体制移行 第1回組長研修会を開催。テーマ「公益法人移行の背景と新組織」竹内会長
- ・ 10月 班長研修会を2回に分けて開催
24日（玉川・世田谷・北沢地域）
25日（砧・烏山地域）
テーマ「新組織におけるシルバー人材センター」
グループ討議：ボランティア活動は事業の一つ
- ・ 11月 19年度入会会員研修会を3か所で開催。講師（前理事）：谷萩耕一・田村進・猪狩俊彦3氏による体験談、アドバイスが好評を博した。グループ討議：契約外の作業を依頼され事故発生／共同作業でトラブルが起きた対処法は？
- ・ グループ討議形式の採用が好評を得た。

就業適正化部会

高品 斉

- ・ 未就業会員意向調査を11月に実施。その結果、退会、健康で就業したい等の個別の希望に応じ、事務局からのアプローチを実施。
- ・ 原則、会員の就業契約は最長1年とし、その更新の上限は4回（同一職種、同一場所での就業は最長5年）となっている。事務局各担当者において、この原則とワークシェアリングの維持拡大を新年度の目標管理とする方針を提案。
- ・ ワークシェアリング運用基準について、就業日数、配分金等を検討中で、3月末までに提案予定。
- ・ 就業場所でトラブルメーカーになっている会員への措置手続きがルール化されている。その手続きが必要な場合は実施することを確認。

地域組織活性化担当

前田 俊夫

- ・ 公益社団法人になって地域組織連絡会議（旧懇親会）には助成金が出せなくなり出席者減少が予想された。そこで、会員の参加を促すために役立つような「警察署による自転車と交通安全」、「消防署による人命救急」、「消費者センターによる消費者被害」、「あんしんすこやかセンターによる介護予防」等、身近で役立つテーマ講演に関する資料を、組長連絡会で提供。それなりの効果が認められた。
- ・ 地域組織の繋がりを強めるために、担当班長の名前・連絡先を記した「班長名刺」を作成し、これを広報紙配布の折に添えるように要請。
- ・ シルバー会員である印として、広報紙配布時に班長が着用する「安全就業バッジ」を配布。

安全委員会

菅野 和昌

- ・ 23年度の重点項目を、①安全就業基準の遵守、②自転車事故の防止、③健康管理の徹底、の3点に定め、全委員が会員就業現場42か所に安全パトロールの巡回指導を実施。
- ・ 仕事別グループの緊急時連絡体制（案）を提案。
- ・ 安全標語の募集を実施、安全意識の啓発を行った。24年度の標語テーマは、以下の3点である。①健康管理について、②自転車事故の防止について、③その他の安全に関すること。
- ・ 安全に関する講習会へ積極的に参加した。
- ・ 植木剪定作業における会員の安全意識維持のため安全パトロールの常設を継続。
- ・ 「シルバーせたがや」に安全啓発の記事を掲載。

会員の就業先を
一つでも増やしたい！



頑張ってます 就業開拓専門員

当センターの会員数の増加に伴い、就業先の拡大確保が喫緊の課題になっています。その対策の一つ、「就業開拓専門員」の活動を紹介します。

★就業開拓専門員制度とは

開拓専門委員は、2カ月間(10～11月)雇用契約を結び、区内の所定のエリアで新たな就業の開拓や就業に関する調査を行います。23年度は、烏山、砧、世田谷の各総合支所管内別に、大上幹夫、小池孝夫、衣笠俊一の3会員が担当しました。

★23年度の就業開拓活動成果

3人の活動日数48日、訪問件数172件で、契約数16件、就業人数44人という結果が得られました。

個人宅の掃除、ガラス拭き、除草、ワックス掛け、庭木の剪定等/神社等の落葉整理、年末・初詣時のトイレ掃除、休息所の清掃等/社会福祉法人の網戸張替、マンション清掃、都営アパートの定例ゴミ出し等/開業医宅の除草、植木剪定、等が実績です。

現制度は、推進期間を2カ月で実施していますが、この時期の交渉が次期の発注への予算付けに繋がった例もあります。新就業改善推進計画でも、訪問時期、費用対効果の勘案等多面的に検討し、より高い効果や成果を目指して取り組んでいく予定です。

就業開拓専門員活動に関心がある方、従事してみたい方は、ぜひ、お申し出ください。

(衣笠 俊一)

23年度 理事による発注者訪問

昨年10月3日～11月16日の期間、全理事による発注者訪問を実施しました。

訪問件数 23年度
総数 66件
公共・公社 33件
民間 33件



就業会員に対する評価は、概ね良好でしたが、ミスのない作業をしてほしい、お客様には愛想よい対応を、就業中によく席を外す・私語が多い等は慎む

	世田谷	玉川	北沢	砧・烏山	合計
公共・公社	17	3	7	6	33
民間	12	13	6	2	33
合計	29	16	13	8	66

ことなどの要請がありました。

センターへは、担当者交替時の連絡や、引き継ぎに当たっての教育・研修の徹底、担当者交替の際の顔合わせなどへの要望がありました。

面談の中で、剪定、除草、清掃等の新規発注に繋がる話もあり、発注者側の問い合わせ等への対応も改善され、良好な関係が築き上げられてきています。



あったかサポート協力会員 集まれ！

大募集

“家具が動かせない、ゴミ出しが困難”こんなちょっとしたお困りごとに対応する「あったかサポート」事業を、4月から区内全域に拡大することになりました。一人住まいの高齢者等のお宅に伺い、元気な当センター会員がお手伝いを致します。

砧・烏山・玉川地域の協力会員募集と説明会を以下の要領で行います。ぜひご参加ください。

日時：平成24年4月10日(火) 午前10時～

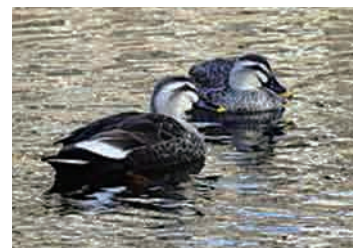
場所：宮阪本部会議室



表紙解説

カルガモの夫婦 ▶

早春の多摩川でカモの群れを発見。嘴の先の部分だけ黄色はカルガモで、外観では雄雌の違いがほとんどない。嘴が黄色で頭が緑色(繁殖期のみ)はマガモの雄。繁殖期以外は、雌雄を問わずカルガモとマガモの外観はよく似ている。通称マルガモと呼ばれる雑種も、増えているそうである。



就業適正化部会は、昨年9月に在籍し、平成22年度に全く就業しなかった会員489名に対しアンケートを実施（回答者218名、回収率45%）。

●未就業の期間

回答結果は右表のとおりで、入会初年度に未就業になると翌年も未就業が続く傾向が見られます。

未就業期間	%
1年以内	30
2～3年	39
4年以上	31

また、体調不良で未就業になった場合は長期化する傾向があり、生活習慣や食生活等、本人の自覚と体調管理が極めて重要といえます。

●未就業の理由・就業には積極的な行動を

未就業の理由で多いのは、次の2つでした。

- ・体調不良と、介護等の家庭の都合が82名（47%）。やはり健康維持が重要と思われます。
- ・事務局からの仕事の連絡なし、57名（32%）
回答と事務局の記録が異なるケースもありますが、

日中電話をしても不在、留守電に伝言を入れても返事がない等、会員のコミュニケーションの問題も散見されます。携帯電話やFax番号、E-mailを事務局に連絡しておくことも有効と思われます。

これらの回答者の6割が、事務局へ電話問い合わせ、直接来所相談等もされていないのは残念です。「さわやか相談窓口」のご利用や、事務局への連絡等、積極的に行動されることが良い方法でしょう。

●今後の就業への希望は？

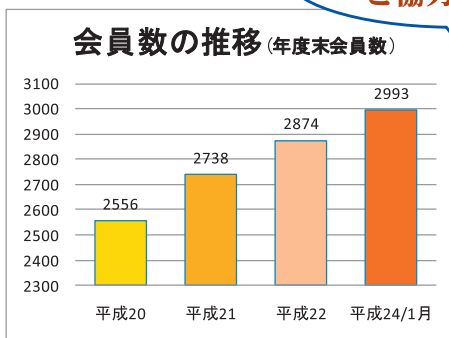
「今後就業したい」が78名（51%）、「就業できない・就業しない」が77名（49%）という回答で、全回答者の36%が「就業希望」です。これらの方には、事務局が就業へ向けた働きかけを進めています。

退会意向は、「退会したい」が40名（45%）、「退会したくない」が49名（55%）。「就業しないが退会したくない」という会員数は推定で110名です。（全会員数3,000名に対して3.7%に該当します。（これを前提にすると、就業率の上限は96.3%）。

いっそうの 就業の公平化・適正化を進めます

常務理事 溝口 猛

分かち合いに
ご協力ください



会員数は上の表のように毎年伸び、この3年間に437名増加(17%)しましたが、就業先の確保や新規開拓が追いつかない状況にあります。

●「生きがい就業」を実現するセンター

センターは、会員が「自主・自立」により共に働き共に助け合う組織です。健康で働く意欲のある高齢者が、その知識や経験を活かし、希望に沿った就業機会を確保して、地域社会と連携し「生きがい就業」を実現することが目的です。これにより、生活感の充実及び福祉の増進が図られることとなります。

事業推進にあたり、すべての会員が公平に仕事を選択でき、就業日数などを「公平化・適正化」することが必要です。まず、仕事の開拓を進めて就業機

会の拡大を図るほか、「生きがい就業」が臨時的、短期的な就業及び軽易な業務であることをふまえ、長期就業の是正や仕事の分かち合い等を進めます。の分かち合い等を進めます。

●就業の公平化と適正化のために

センターの事業は、いわゆる「高齢法」に基づいて実施され、国から就業の公平化・適正化等の適正運営の通知が出されています。例えば、発注者に「臨時的・短期的・軽易」な就業の理解を得て、月10日程度または週20時間以内の就業とし、特定会員が長期間継続して就業することなく、他の会員に公平に機会を提供することなどです。

センターでは、継続就業（同一職種・同一就業先で月に数日程度就業）」の場合に「4回ルール（最高5年）」を定め、また基準を超える就業日数の場合には「ワークシェアリング(仕事の分かち合い)」を進めますので、ご協力をお願いします。

●「新 就業改善推進計画」を策定

昨年12月、「『共働・共助』による就業の拡大、公平化・適正化を進める」をスローガンに本計画を改定しました。（詳細は「概要」を参照）

24年度には、国（東京労働局）による適正就業の指導が実施される予定です。センターも、一層の就業の公平化と適正化に向けて対策を進めます。

韓国視察団がセンターに来訪

うるさん

蔚山広域市

高齢者雇用
支援センター



2月15日、韓国の蔚山広域市「高齢者雇用センター」の孫慶淑センター長ほか4名が、来訪されました。

韓国も高齢者の増加で高齢者雇用支援策を行っており、日本の先進的取組みが視察目的とのこと。

会長・副会長、常務理事、事務局長が対応し、約1時間当センターの取組みを説明後、桜新町自転車等駐車場を見学し、港区シルバーに向かいました。

孫センター長からは、①公共事業実績が半分もあり羨ましい、②韓国の駐輪場業務は入札方式、③蔚山市も雇用契約でない支援を実施、④市内に24のセンターがあり本部が支援、⑤蔚山市職員も同行予定だったが来れなくなった等の話題が出ました。

宮城県富谷町シルバーの皆さんがセンターに事業視察に来訪



2月24日、富谷町シルバーの大童理事長ほか女性を含む8名が事業視察に来訪され、会長、副会長、常務理事、伊藤理事、事務局長らと意見交換。烏山支部の陶芸教室を見学、帰途につかれました。

意見交換では、家事援助の仕事に質問が集中し、町の要請で「日中ひとりで過ごす高齢者」へのサービスや、「あったかサポート」を単価500円ぐらいで検討中とか、高齢者や産前産後への支援需要が増加している、農作業は派遣労働に切り替えた等の話も出ました。また、ボランティア活動は「ふるさと祭り」、子どもの登下校の見守り等をしている等、約1時間話題は盛り上がりました。

安全委員会からののお知らせ

安全委員会委員長

菅野 和昌

【自転車事故の撲滅を目指して】

平成23年度の傷害事故は24年2月13日現在、13件発生しており、前年度に比べ倍増しています。特筆すべきは就業途上における自転車事故が6件、その

2件は救急車対応という重傷を被っています。

原因は、「一時停止」や「安全確認」等を怠ったことによると思われますので、自転車を利用する際は「安全運転と安全確認」を守りましょう!!

— 24年度安全標語が決定しました —

24年度の安全標語の募集結果は、総応募人数31名、107作品が寄せられました。選考は安全委員12名で、各テーマごとに1名が最大3作品を選出し、票数の多い作品を優秀作品、次点を佳作とする方法で行いました。選考の結果、以下の作品が入選と決定致しました。多数のご応募ありがとうございました。

安全標語入選作品

テーマ1 健康管理について

優秀

過信せず 健康チエック

心がけ

平塚 郁太郎

佳作

健康は 良く噛み歩き

川名 享子

テーマ2 自転車事故の防止について

優秀

ハンドルの ニギリはいつも

津田 公三

佳作

確認と 注意の習慣

宮内 辰蔵

テーマ3 その他安全に関する事

優秀

確認は 急がず焦らず

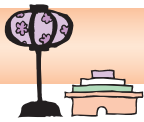
住川 貢

佳作

余裕持て すべての事を

小池 貢

安全に



会員のページ

東日本大震災から1年を経て

北沢組 吉市 弘平

昨年3月11日(金)、午後2時46分に発生した東日本大震災。地震による津波で多くの方が亡くなる大災害となり、さらに原子力発電所の事故により、大変な困難が日本に押し寄せました。

政府の対応の遅れ、東京電力の場当たりな対応は情けない限りです。円高による経済の低迷、与野党の協調体制の欠如等残念でなりません。東北地方に活気が戻る1日も早い復興を祈っています。

震災当日は、地元のジムでトレーニング後にサウナに入って一息入れているときで、突然腰の下から突き上げられるような衝撃で、建物も揺れプールの水は溢れ、これ程の揺れは初体験でした。

駐輪場で就業していますが、お客様の避難誘導も含め、いつ発生するか分からない地震災害に備える心構えを持っていたいと思っています。

めぐり会い

弦巻組 松本 準公

古希を過ぎて過去を振り返ることが多くなりました。会社人間になりきって愛社精神、男のロマン等と熱く語り合いながら、個人、会社、業界同士の競い合いに闘争心丸出しで頑張ってきた自分がいじらしく思えます。

駐輪場に就業中ですが、ここでは思いやりが基本理念になっていて、縦割りではなく並列社会です。10人の仲間が2人ずつ1日2交代、午前の方は午後の方のために、午後の方は翌朝の方のために、すぐ就業できるよう片付け、ポットの水、書類の日付、当番の名札、伝言のメモにいたるまで、思いやりのリレーが息づいています。多くのさまざまな人に巡り会いお世話になり、感謝！

「健康は宝。社会参加の喜び・豊かさがシルバー」という会長の訓示に全て集約されています。



毎日が幸せと思える日々

等々力組 松井 敏和

昨年1月サラリーマン生活を終え、当センターに入会し、マンション清掃に就業しています。

2か所は週4回、早朝から各2時間、他の2か所は1週1回1時間、昼ごろ就業です。送り迎えや、就業が重なっている日は時間に合わせてワイフが車で移動を助けてくれています。

暑い日も寒い日も朝はさわやかで、きれいにすることに喜びを覚え、朝の挨拶を交します。シャイな高校生は5m前で自転車を降り、頭を下げ「行ってきます」。“おじちゃん”と走ってきて小さな暖かい手を出し一緒に歩く3歳の女の子は天使のよう。土曜休みの中年のサラリーマンが差し出すコーヒーカップで心も温かくなります。

ワイフと当センターのスタッフに感謝します。

ゴルフ同好会のお仲間になりませんか

下馬組 金田 美智子

早朝、三軒茶屋に停まっているバスに、「おはよう！」と笑顔で人々が集まって来ます。5時半に出発、この日はゴルフコンペの開催日です。

栃木県のゴルフ場でプレイを楽しみ、入浴後のパーティーは帰りのバスの中。お弁当が配られ、お酒やコーヒーをいただきながら競技結果が発表され、賞品がマイクと共に座席の中を行き来し、和気あいあいのうちに東京に到着します。

ゴルフ同好会に参加して1年半が過ぎ、面識がなかった竹内会長や諸先輩ともお話をする機会に恵まれ、以前よりセンターが身近に感じられるようになり、学ぶことも多くあります。

残念なのは女性が2名だけということ。皆さん優しい方ばかりです。お仲間になりませんか。

会費納入のお願い

平成23年度及び24年度の会費（年額1,000円）が未納の方は、早急に宮坂本部又は支部にお納めください。

**事務局
だより**

●配分金振込日予定●

3月分 4月13日(金) 4月分 5月16日(水)
5月分 6月13日(水) 6月分 7月12日(木)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承願います。

定時総会開催日のお知らせ

公益社団法人世田谷区シルバー人材センターの定時総会が、平成24年6月14日(木)午後から、世田谷区民会館ホールにおいて開催されます。

この定時総会は、主に役員を選任や決算等を審議・承認をいただくことと、23年度の事業報告、平成24年度の事業計画及び予算を報告する総会です。開催通知や議案内容等の資料は、開催月に入ってからご送付いたします。

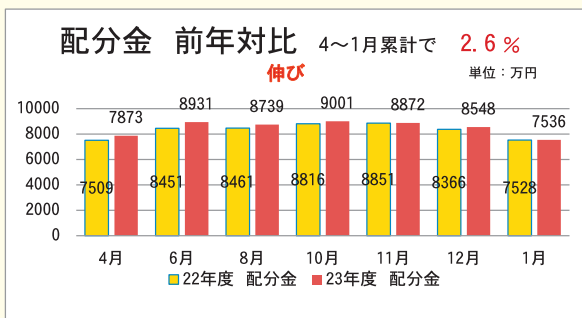
- ・当日は開催通知書の封筒をご持参ください。
- ・総会開始前に「交通安全講習会」を実施の予定。

事業実施状況（平成24年1月末現在）

23年4月～24年1月 加入者計 388人
女性会員は前年度末から53人増加し27.9%に上昇。

会員数 男 2,158人
女 835人 計 2,993人
受託件数 4～1月 17,315件
契約金額 4～1月 10億3,966万円

*会員数は、23年1月比で152人（5.4%）の増で、ほぼ3千人となりました。事業実績は4～1月比で、受託件数が民間受託を中心に1,222件、契約金額が2,114万円、配分金額が2,221万円（率で各7.6%、2.1%、2.6%）の増となりました。会員数が急増の折、会員の皆様にもワークシェアリングへのご協力、事業PRなどをお願いします。



— お知らせ —

等々カワークプラザが用賀に引越します
等々カワークプラザの施設が平成24年3月28日(木)に、用賀作業所あとに一括移転致します。
移転事業は、パソコン教室、全カルチャー教室、植木申込み受付、襖張替えの作業場です。

移 転 先

新住所 〒158-0096 世田谷区玉川台1-12-1
(田園都市線 用賀駅 下車)



就業についてのご相談は

理事による「さわやか相談窓口」は、毎月第2月曜日です（4～6月は下記日時）。事務局窓口では、窓口開設中はいつでも相談できます。
相談時間：午前10:00～ 午後13:00～
場 所：宮坂本部

4月9日(月) 5月14日(月) 6月11日(月)

編集後記

春の情景を探して区内名所を回ったけれど、厳しい寒さが続き「春」は見当たらない。表紙写真の多摩川のカモの群は、カメラマンの苦心の作品。のどかに見えるけれど、雌獲得の熾烈な競争が繰り広げられているような。

・お詫びと訂正

新年号6 ページ：安全標語入選作品のお名前

「永山省吾」様は、「永光省吾」様の誤りでした。

編集委員

…… みんなで会員を増やして地域に貢献 ……

生きがいとたのしい仲間が待っています

現在約3000人の会員がいます。仕事だけでなく趣味（カラオケ、ゴルフ、ボランティアなど）のグループもあります。



高齢者にふさわしい仕事をご紹介します

高齢者が「社会参加」を求めています。生きがいのある仕事をご紹介します。センターが責任をもって実現します。

問い合わせ TEL (03) 3426-9211 宮坂本部